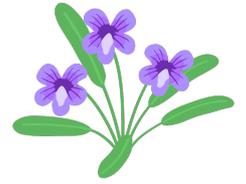


富浦協働つうしん



令和3年3月25日

発行：富浦地域づくり協議会「さざなみ」

Tel 0470-33-3412 Fax 0470-33-4788

第122号

〒299-2403 南房総市富浦町原岡88番地2(とみうら元気倶楽部内)



<https://www.facebook.com/TOMIURA.SAZANAMI/>

mail : tomiura.sazanami@gmail.com

おはなし会

日時：4月11日(日) 午前11時～
場所：とみうら元気倶楽部 多目的室
※状況により中止になる場合があります。

絵本の読みきかせ、手遊びなどでお楽しみください。



4月の口コモ体操教室

14日(水) 28日(水) 午後1時30分～

とみうら元気倶楽部 多目的室

※申込不要です。お気軽にご参加ください。



踏み台昇降ステップ台を購入しました。これを使った新しい運動プログラムを行う予定です。

4月のびわっこガーデン

4日(日)のびわっこガーデンは中止します。

18日(日)以降は未定です。決まり次第Facebook・

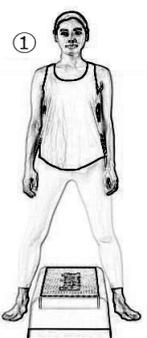
みんなネット (<http://civil.mboso-etoko.jp/>)等でお知らせします。

南房総みんなネット



簡単な体操のご紹介 今回は120号でご紹介した「スローステップ運動」の応用編です。

踏み台をまたいで上り下りするステップ ①～⑤を2秒ごとに1～2分間くりかえします。



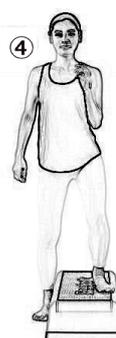
① 踏み台を縦に置き、両脚で台をまたいで立つ。背筋を伸ばし、手はだらんと下ろす。



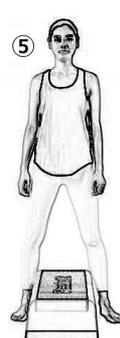
② ステップを踏んで、片脚を台にのせる。もう片脚がのるスペースも確保しておく。



③ もう片脚も踏み台にのせる。踏み外したり、先にのせた脚の上にのらないように注意



④ 最初に踏み台に乗せた脚から先に下りる。踏み台の横に、真っすぐ足を下ろすこと。



⑤ もう片脚も床に下ろし、①のフォームに戻る。

富浦を訪れた人、富浦と関連の深い人を紹介していきます。
まずは今注目の「渋沢栄一」です。

渋沢栄一と富浦

現在放送中のNHKの大河ドラマ「青天を衝け」の主人公であり、2024年に発行される新一万札の肖像になる渋沢栄一は安房地域と縁の深い人物です。

明治33年東京市養育院が結核による虚弱児童の保養のための転地療養施設として試験的に勝山保養所を開設したのが始まりで、明治42年結核児童に限らず広く一般虚弱児童を入所対象として、船形に移転し養育院安房分院を設置（現東京都船形学園）し、渋沢栄一は初代院長を務めました。

その関係で館山船形には7回訪れています。富浦にも2回訪れています。



1回目は明治42年5月。

「五月十七日、直ニ山口氏ノ家ヲ発シ、馬車ニテ富浦ニ抵リ、川合氏ノ案内ニテ批把酒醸造所ヲ一覽ス、船形町長正木清一郎・安達憲忠氏等此地マテ送り来ル、醸造所一覽後諸氏二分袂シ」（渋沢栄一日記）

日記では「川合氏」とありますが、「竜門雑誌（青淵先生の総房地方旅行）」では「同村長川名正吉郎氏」とあり、こちらが正しいと思われます。

見学した批把酒醸造所とは明治36年から大正元年まであった「日本枇杷酒株式会社」のことで、将来生産過剰となった場合に備え枇杷酒醸造を研究し、会社が設立されました。「大日本農会報」（明治39年7月）には「此の日日本枇杷酒株式会社（千葉県安房郡富浦村）より其社醸製の枇杷酒を寄贈せらるゝありて宴会の品評に供ししが甚だ好評なりし」という記事があります。東京赤坂で200名余が参加した祝賀会で供され、好評を博したようです。

2回目は大正3年8月です。

「八月二日、昨日富浦村海水浴場に至り居られたる院長の令孫敬三君、院長を院に訪問あり、随て同家に宿泊せられしが、本日院長一行は敬三君を富浦なる高等師範学校の寄宿舎に送られ、十二時分院に帰還」（東京市養育院月報）

孫の渋沢敬三は当時東京高等師範学校附属中学校の1年生で、豊岡の水泳部宿舎に滞在していました。

参考文献

- ・ 渋沢栄一伝記資料
- ・ 富浦枇杷の歴史 富浦町農業委員会発行